



Tsukazaki Hospital

Rehabilitation



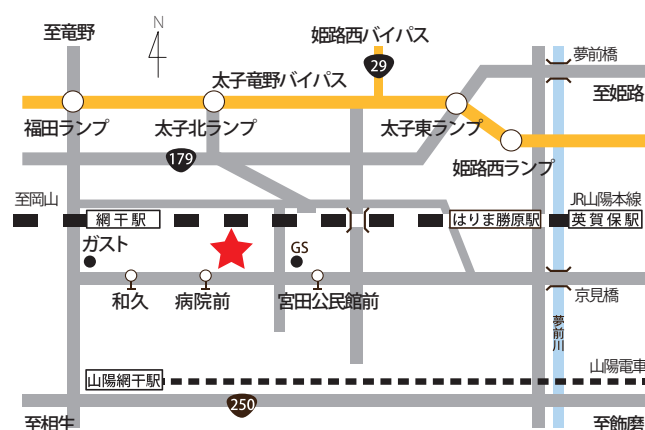
私が目指すスペシャリストへ

私たちは患者さんに寄り添ったりハビリを提供します。

Physical Therapist

Occupational Therapist

Speech Therapist



Access

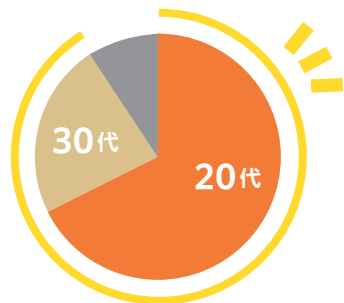
電車…JR網干駅より東へ線路沿い 徒歩約10分
車 …太子龍野バイパス福田ランプより南へ 約15分
バス…神姫バスにて「ツカザキ病院前」で下車

問い合わせ先

社会医療法人三栄会
法人本部人事課 鳴瀬 聡 宛
〒671-1227 姫路市網干区和久68-1 ☎079 - 272 - 8570

what do you want to be ?

01 相談しやすい環境づくり
先輩と1対1で指導するプリセプター制度を導入しています。
教育ラダーに沿って指導を行っています。



スタッフの7割が20代、9割が20～30代という若いスタッフの多い職場です。
2.30代が多いからこそ相談しやすく明るい職場です。

02 回復段階に応じたリハビリを経験
発症直後から在宅生活まで、回復段階に応じたリハビリを全て経験でき、患者さん・利用者さんと伴走できます。
興味があれば様々な分野での知識を身に付けることができます。

	急性期	回復期 (地ケア病棟・回リハ病棟)	生活期 (通所リハ・訪問リハ)
ツカザキ			
三栄会広畑			
在宅事業部			
当法人			

03 スペシャリストの声を聞こう！
新卒・既卒に関係なく入職時には班の希望を確認しています。
在職してからも定期的に希望の確認を取るので、自分に合った専門分野を高めることができます。



※当動画の情報を転載、複製、改変等は禁じます。

04 実習で感じた雰囲気

作業療法士 脳外科・脳神経内科班

2022 年卒

私は実習でも当院の脳疾患班で、勉強させていただきました。実習生の私に対して、バイザーの先生、先輩も丁寧に指導してください、就職を決めました。当院には疾患別班制度があり、浅く広い知識ではなく、1つの分野における専門性を高め、最新機器でエビデンスのあるリハビリが学べます。入職後もマンツーマンでの指導をして頂ける為、安心して働くことができました。

急性期～回復期を経験できるから！

将来は訪問で働きたいから！

疾患別班に分かれていて興味のある分野を専門的に学べると思った！

長期実習で雰囲気の良さを感じてここで働きたいと思った！

三栄会を就職先にした理由は？

リハビリ室は広く最新の治療機器が揃っているから！

あなたはどんなセラピストになりたい？

教育システムが整っているから安心だと思った！

セラピストの人数が多い

05 福利厚生

- ・子育て支援
- ・資格取得支援
- ・職員サポート制度
- ・住居補助
- ・兵庫県病院企業年金基金加入
- ・リロクラブ加入

スタッフ一人ひとりを大切にしています。
様々な福利厚生を提供しており、自身のライフスタイルに合わせた制度の活用が可能です。

もっと詳しく見たい人はQRコードから！



見学

法人サイト募集要項から部署紹介を掲載しています。
お問い合わせよりメールにてご連絡ください。

担当 社会医療法人三栄会
法人本部人事課 鳴瀬 聡



実際に病院の様子を見よう！
お気軽に病院見学へ！

06 法人概要



社会医療法人三栄会 ツカザキ病院
兵庫県姫路市網干区和久68番1

病床数:406床 一般病棟(DPC) 346床、HCU 8床、SCU 12床、
回復期リハビリ病棟 40床

診療科 脳神経外科・外科・消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・
整形外科・乳腺外科・形成外科・総合内科・糖尿病内科・
感染症内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・
脳神経内科・人工透析内科・眼科・泌尿器科・放射線科・
麻酔科・救急科・リハビリテーション科・病理診断科



社会医療法人三栄会 三栄会広畑病院
兵庫県姫路市広畑区夢前町3丁目1番1

病床数:130床 地域包括ケア病棟80床・回復期リハビリ病棟50床・
透析ベッド数 72床

診療科 内科・消化器内科・腎臓内科・脳神経内科・脳神経外科・
循環器内科・整形外科・眼科・人工透析内科・人工透析外科・
放射線科・リハビリテーション科



- 教育プログラム - 進化は挑戦からはじまる

01 マンツーマン指導による 新人教育システム

新人教育ラダー

新人教育は各疾患の班別に分かれて行っています。希望の班を入職時に確認します。

班別教育の中でも「マンツーマン指導」を取り入れており、分からないことも「すぐに確認できる先輩がいる」という安心感を持てます。



8月
～
3月

新患の初期評価や代診を実施。
目標：他セラピストと同様の業務が行える。
一年間通して、毎月指導者会議を行い、
新人職員の現在の状況、今後の方針の確認
等を行いフォローする。
8月にはリハ科内での発表、年度末には
院外発表を実施。

7月

月末目標は独立(軽度～重度):8.9人
程度のリハビリを実施。
月末には中等度の患者の代診を独立
で開始。

6月

月末目標は独立(軽度～中等度):5.6人程度。
監視下(重度):2人 程度のリハビリを実施。
月末には軽度の患者の代診を独立で開始。

5月

月末目標は独立(軽度):3.4人、監視下(中等度):
2人 程度のリハビリを実施。
月末には軽度の患者の代診を監視下で開始。

4月

指導者の監視の下、院内やリハビリ室
の業務内容の把握に努め、間接業務
を中心に行う。

*免許到着前
～到着後

指導者の患者・新患を、到達状況に応じて徐々に
新人が担当を行う。
月末目標は監視下:2人程度のリハビリを実施。

02 キャリアセラピスト 教育プログラム

1ヵ月

疾患別班に所属しプリセプターの訓練見学から始める。プリセプター監視の下、急性期治療や合併症、ルート管理などを学習する。
能力に応じて、段階的に重症度の高い患者を担当する。

2ヵ月

独立で訓練する担当患者数が増え、
高度な管理を必要とする患者のみ監視下で実施する。

3ヵ月

重症度による疾患別班内での担当制限はなくなり、他の疾患別班(軽度～中等度)の代診を開始する。HCU・SCU患者も含めて、独立で訓練する。
他セラピストと同様の業務内容、業務量となる。年間通して、担当プリセプターが相談を受け、リハ科・疾患別班の全体でフォローしていく。

自らが積み上げてきたキャリアの上に、更に経験値を積み、大きな成果をあげる。

03 スペシャリストへのステージアップを支援

疾患別班によるスキルアップ

*より専門的なスキルアップ

経験豊富なスタッフが多く在籍しています。
学習目的が明確化し、特定の疾患に関わり続けることができ、先輩の評価やアプローチを学び模倣できます。

休日明けには担当患者のフィードバックを受けることができ、複合疾患や既往歴など、班同士で協働して評価やアプローチができます。

*代診でスキルアップ

*班を超えた関わりでスキルアップ

班別リーダーの声

回リハ

<https://youtu.be/O2CPVB64Chg>



呼吸器・がんリハ

<https://youtu.be/lo0AMLHspCY>



心臓

<https://youtu.be/N-hUshbCUWA>



URLをタップ！
YouTubeサイトに
移動します！

脳外科・脳神経内科

<https://youtu.be/BJ-bGDONT8U>



運動器

<https://youtu.be/-qK7CXvoOgQ>



04 エビデンスに基づいたリハビリを提供



ウェルウォーク



ADL シミュレーター



ジェントルスティム



嚥下造影検査(VF・VE)



ゲイトジャッジ



IVES(電気刺激装置)

05 院外研修への補助

院外で開催される研修や学会も出張として認められています。
資格取得を支援する体制も整っており、さらなる技術の向上を目指します。

院外研修 発表演題実績

詳細はQRコードより新人教育システムより、「新人教育システムⅢ」からご覧ください。



特集

三栄会 回復期リハビリテーション病棟

当法人には、ツカザキ病院(回リハ:40床)、三栄会広畑病院(回リハ:50床)があります。
急性期病棟から回復期病棟へ転棟した際は、急性期病棟と連携しスムーズに情報共有し、入棟時より具体的に退院に向けての計画を立てていきます。
多職種と協働して定期的にカンファレンスや病棟回診を

実施し、退院に向けての課題に取り組み支援していきます。
退院前には家族様に介助指導や栄養指導、服薬指導など退院後も問題なく生活できるようにご説明させていただきます。
また家屋調査やカンファレンスにて退院後の生活を見据えたサービス立案や福祉用具・機器の選定等を在宅部門スタッフと協働し、支援していきます。

回リハ病棟では
どんなことしてるの？

屋外歩行練習・買い物練習

必要に応じてスーパーへの買い物や屋外歩行練習を行い、実生活に近い環境下での練習を行います。
屋外歩行に出られた際は、外の明るさや空気に患者さんは喜ばれます。

装具作成

患者さんの歩行能力を医師・義肢装具士と協働して評価し、能力に応じてオーダーメイドの装具作成を行います。

調理練習

買い物練習等で購入した食材を使用して、安全面に配慮しながらリハビリ室で調理訓練を行います。

家屋訪問・調査

患者さんの自宅を訪問し、手すり設置や段差の解消、福祉用具の提案など安全に生活できるように支援します。

嚥下造影検査・ジェントルスティム

VF・VFを使用し嚥下動態や適切な食形態・姿勢を評価・診断します。また電気刺激療法で嚥下機能を高め、患者さんの「食べる能力」を最大限に引き出しています。

当法人 回リハの退院支援の取り組み

入院当日

- ・電子のカルテ一元化により、急性期入院中から情報収集が可能
- ・多職種による入棟時カンファレンスを実施し早期から情報共有
- ・入院当日からリハビリ開始

入院初期

- ・EBMリハ(根拠に基づいたリハビリ)の実施
- ・多職種での定期カンファレンス(2回/週)を実施
- ・多職種で退院の目的、退院に向けての目標・課題点を共有

入院中期

- ・毎月、主治医から家族への病状・リハビリ状況の説明を実施
- ・カンファレンスシートで本人・家族と目標や課題を共有

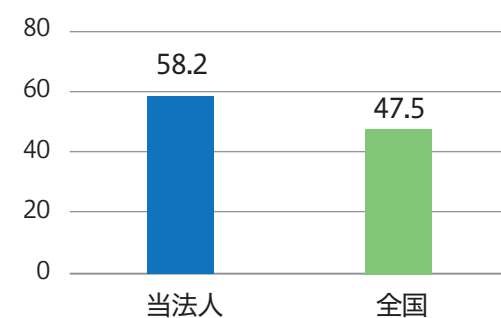
退院前

- ・家屋調査、買い物練習など、実生活を見据えた支援を実施
- ・家族指導や退院前カンファレンスを実施し、退院後の不安軽減を図る

なので…

当法人の実績(2023年度): 当法人は全国平均と比較し、
良好な治療実績を残しています！

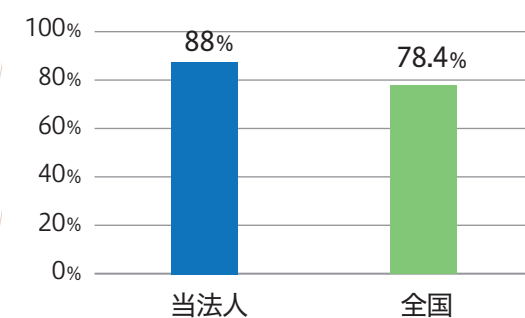
実績指数



実績指数とは

回復期リハビリ病棟に入院中に、どれだけ効率的に日常生活を改善できたかを示す指標です。

在宅復帰率



在宅復帰率とは

退院した人がどれだけ自宅、またはそれに準じる施設に移ったかを示す指標です。

(2023年度 回復期リハ病棟協会調査報告書より抜粋)